

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

Aboitiz Equity Ventures Inc.（証券コード：-）

【新規】

外貨建長期発行体格付
格付の見通し

A-
安定的

■格付事由

- (1) Aboitiz Equity Ventures Inc.（以下、AEV）は、フィリピンの主要財閥の一つである Aboitiz グループの上場持株会社。筆頭株主は創業家の私的資産管理会社である Aboitiz & Company Inc.で、25年12月時点における持株比率は49.27%であるが、AEVは上場会社として独立した経営体制を維持している。AEVは、傘下の事業会社を通じて、電力、食品・飲料、金融サービス、インフラ、不動産の5つの中核事業を展開している。金融サービスを担う Union Bank of the Philippines は持分法適用会社であり、25/12期連結決算（内部調整前）の売上構成比は、電力58%、食品・飲料36%と両事業の占める割合が高い。持分ベース EBITDA の構成比でも58%を占める電力事業がグループの安定した収益基盤となっている。
- (2) 格付は、AEV を持株会社とするグループ全体の信用力を反映している。主要事業会社に対する支配力および安定した配当収入を踏まえ、AEV の信用力はグループ信用力と同等と判断した。グループ信用力は、電力事業を中核とする強固かつ安定的な事業基盤とキャッシュフロー、食品・飲料やインフラなど非電力事業拡大による収益源の多様化、および堅実な財務運営方針を評価し「A」相当とみている。一方、事業基盤がフィリピン国内に集中しており、政治・経済情勢の影響を受けやすい点を考慮し、外貨建長期発行体格付は同国のソブリン格付（A-/安定的）の制約を受けており、「A-」とした。燃料価格上昇の影響は最終的に電力料金に転嫁される可能性が高く、当面は財務バランスが維持されると見込み、格付の見通しは安定的とした。
- (3) 連結売上高は長期的な成長トレンドを維持しており、過去10年間の年平均成長率は10%を超える。売上の拡大に伴い EBITDA も着実に増加している。一方、電力、インフラ事業を中心とした積極的な投資により、減価償却費や金利負担が増加したほか、電力事業での減損などから、当期利益の伸びは抑制されてきた。26年は一時的費用の減少に加え、新たに取得した Chromite Gas Holdings や CBK 水力発電所などの収益貢献が見込まれる。非電力分野への投資効果も顕在化し始めており、利益源の多様化が進展している。
- (4) 連結財務構成は安定した水準を維持している。25年末の純資産比率は40%、ネット・デット・エクイティ・レシオは1.0倍である。ネット有利子負債/EBITDA 倍率は4.2倍であるが、電力事業を中心とする安定的なキャッシュフローを踏まえれば許容可能な水準と考えられる。取引銀行からの未引出し借入枠を十分に確保しているほか調達手段も多様で、グループの流動性に懸念は小さい。

（担当）杉浦 輝一・堀田 正人

■格付対象

発行体：Aboitiz Equity Ventures Inc.

【新規】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|------------|----|-----|
| 外貨建長期発行体格付 | A- | 安定的 |

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年5月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：杉浦 輝一
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「電力」(2023年6月1日)、「食品」(2026年4月1日)、「持株会社の格付方法」(2025年4月2日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) Aboitiz Equity Ventures Inc.
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル